

Press Release

ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）を活用したフレイル予防実証事業にあたり、 飯塚市と福岡地域戦略推進協議会は連携協定を締結 【フレイル予防をテーマにした SIB 実証事業は日本初】

飯塚市と福岡地域戦略推進協議会（以下、FDC）は、フレイルチェック等を通じて市民の健康寿命の延伸や地域の一層の活性化に資するための実証事業の実施にあたり、連携協定を締結します。

九州でいち早く飯塚市が取り組んできたフレイル予防事業のさらなる展開に向けて、本実証事業では、ソーシャル・インパクト・ボンド（以下、SIB）のスキームを活用して、民間資金を用いてフレイル予防の多面的な効果を実証し、成果指標を探ります。フレイル予防をテーマにした SIB の実証事業は日本で初めてです。

※SIB…民間資金を活用した官民連携による社会課題解決の手法の一つであり、民間の資金提供者から調達した資金を基に事業を実施し、事前に合意した成果が達成された場合、行政が成果に応じて資金提供者に費用を支払う仕組み。

※フレイル…フレイルとは、虚弱を意味する「frailty」（フレイルティ）から作られた言葉で、加齢とともに心身の活力が低下した状態を「フレイル」という。フレイルには、身体的フレイルだけではなく、心理的フレイル、社会的フレイルがあり、それが相互に影響している。

1. 連携協定について

(1) 連携・協力事項

- 飯塚市

事業及び参加者募集の広報や飯塚市フレイル予防サポーターとの連携調整に関して協力するとともに、実施会場の確保に関して支援

- FDC

実証事業で収集したデータ及びその分析結果について市へ提供

(2) 期間：協定締結日から 2020 年 3 月末日まで

2. 飯塚市におけるフレイル予防の取り組みについて

飯塚市においては、介護予防の取り組みのひとつとして、高齢者自身がフレイル（虚弱）の状態を気づき、日常生活の中にフレイル予防を取り入れるための意識変容・行動変容を目的とし、平成 28 年度より取り組んでいます。

(1) 対象者：市内在住の 65 歳以上の方

(2) 事業内容：フレイル予防サポーター養成講座、市民啓発講演会、フレイルチェック、フレイル予防プログラム

(3) フレイル予防サポーター（フレイル予防に関する活動を支援する市民サポーター）登録数：約 80 名

3. 実証事業について

フレイル予防事業のさらなる展開に向け、「フレイル予防」の多面的な成果の可視化を目的に、SIB を活用した実証事業を行います。民間資金を用いて実験的にサービスを提供し、得られたデータをもとに、医療費削減の視点だけでなく、まちづくりの視点も含めた社会的インパクトを可視化できる成果指標の作成を目指します。

4. 実証事業の実施体制について

実証事業は、FDC が飯塚市と連携し、三井住友銀行、福岡ソフトウェアセンターとともに実施します。また、フレイル研究の第一人者である東京大学 高齢社会総合研究機構の飯島勝矢教授に、本実証事業の評価アドバイザーとして、成果指標の検討に協力いただきます。

5. 問い合わせ先

＜連携協定に関すること＞

飯塚市 福祉部 高齢介護課 地域包括支援センター係

担当：倉智 TEL：0948-22-5500（内線 1140）

＜実証事業に関すること＞

福岡地域戦略推進協議会（FDC）

担当：片田江・櫛間 TEL：092-733-5682

URL：www.fukuoka-dc.jpn.com/

MAIL：info@fukuoka-dc.jpn.com

SIBを活用したフレイル予防実証事業について

2019.03.15

超高齢社会に向かう中で、高齢者の健康寿命を延伸し、経済活動・地域活動への参加を促すことによって高齢者も「社会の支え手」とする新しい社会システムが求められています。その方策の一つとしてフレイルチェックが全国およそ30の自治体で導入される中、飯塚市においては、九州でいち早くフレイル予防事業が取り組まれてきました。現在では約80名の市民サポーターが活動に参画し、市民主体の健康づくりが行われています。

このフレイル予防事業のさらなる展開に向けて、産官学民が連携し、ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）を活用した実証事業を行います。

SIBは、民間資金を活用した官民連携による社会課題解決の手法の一つとして、国においても「未来投資戦略」に盛り込まれ、特にヘルスケア分野におけるSIB導入が推進されています。しかしながら、フレイル予防においては、SIB化に必要な成果指標が確立されていません。

そのため、本実証事業では、民間資金を用いて、実験的にサービスを提供し、フレイル予防の多面的な効果を実証します。フレイル予防は「栄養（食・口腔機能）」「身体活動（運動など）」「社会参加（就労、余暇活動、ボランティアなど）」を三位一体として包括的に底上げすることが重要とされており、本実証事業を通じて、医療費削減の視点だけでなく、サポーター活動によるコミュニティ形成など、まちづくりの視点も含めた社会的インパクトを可視化できる成果指標を探っていきます。

1. 事業概要

- (1) 目的：フレイル予防の多面的な成果の可視化
- (2) 事業内容：
 - ① フレイル予防の普及・啓発（民間商業施設における簡易チェック・専門職による相談等）
 - ② フレイルチェック（深堀チェック）
 - ③ フレイル予防につながる活動の発掘・マッチング
 - ④ サポーター主体の運営体制の構築
 - ⑤ フレイル予防事業の成果指標の作成
- (3) 対象者：主に飯塚市内在住の60歳以上の方（延べ約300名程度を想定）
- (4) 事業費：100万円（三井住友銀行より寄付）
- (5) 事業期間：2019年4月～2020年3月末の1年間（予定）

2. 参加・協力団体

- 行政：飯塚市 広報、会場提供、サポーターとの連携協力
- 中間支援組織：福岡地域戦略推進協議会 事業のコーディネート、関係者間の調整
- サービス提供者：福岡ソフトウェアセンター サービスの提供
- 資金提供者：三井住友銀行 資金提供（寄付）
- 評価アドバイザー：東京大学 飯島勝矢教授 効果の評価

